

ヒューストン市公式訪問報告書

平成29年10月9日（月）～13日（金）

千葉市

総務局市長公室国際交流課



1 訪問目的・概要

(1) 訪問目的

本年は、アメリカのヒューストン市と姉妹都市提携45周年にあたる。これを契機に、これまで青少年交流等で培ってきた友好親善を一層深めるとともに、さらなる交流促進を目指すため、ヒューストン市を公式訪問した。

また、大型ハリケーンで被災した同市の復興を応援するために、市民の皆様から募った「ヒューストン市洪水被害見舞金」と「応援メッセージの寄せ書き」をターナー市長に手渡した。

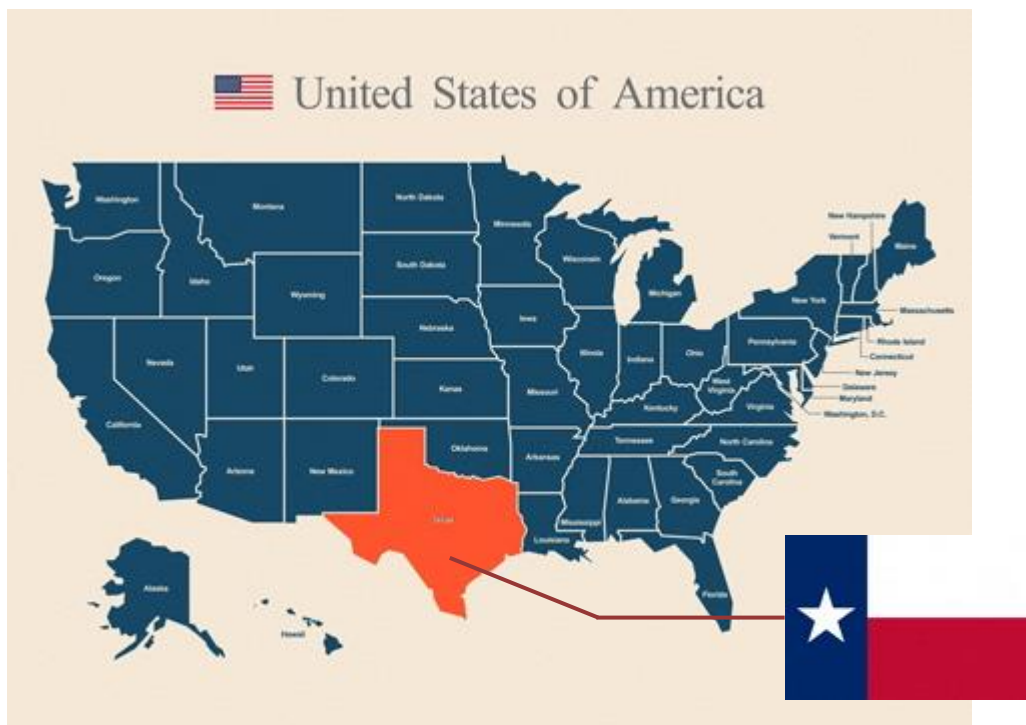
千葉市長としては、平成22年(2010年)10月以来7年ぶりのヒューストン市訪問となる。滞在中には、友好関係確認書への署名を行い、45年間積み重ねてきた友好関係を両市互いに確認するとともに、市長が訪問する公式訪問として、ヒューストン市との信頼関係をさらに強固なものとし、今後も両市の発展的な関係を築いていく礎とする。

(2) テキサス州・ヒューストン市の概要

【テキサス州】

テキサス州は、アメリカ南部に位置する全米第2位の広さを持つ州であり、日本列島の約2倍の面積がある。1836年にテキサス共和国として独立し、1845年にアメリカ合衆国に併合された。

人口ではヒューストンが最大の都市であり、その他の都市としては、サンアントニオ、ダラス、エル・パソ、フォートワース、及び州都のオースティンがある。



【ヒューストン市】

<人口> 約230万人（2016年7月1日現在）

<面積> 約1,500平方キロメートル

<市長> シルベスター・ターナー



ヒューストン市のダウンタウン



ヒューストン市役所

〔概要〕

テキサス州南東部、メキシコ湾から運河で約80kmさかのぼったところに位置するテキサス州最大・全米第4位の人口を誇る大都市である。

市の歴史は、メキシコから独立してテキサス共和国が誕生した1836年に始まる。市の名称は、独立戦争の英雄サミュエル・ヒューストン将軍に因む。

石油・天然ガスなどのエネルギー産業や合成ゴムをはじめとする石油化学産業、綿花・小麦などの農畜産加工業が盛んであり、IT産業、医療サービス産業、航空宇宙産業などへの多様化も進んでいる。

市内には、スペースシャトル計画のNASA ジョンソン宇宙センターやMD アンダーソンがんセンターなど世界的に有名な機関がある。また、貨物取扱高ではアメリカ第2位、大きさでは世界第10位を誇る国際港、ヒューストン港を擁している。



市旗



市章

〔市章〕

ヒューストン市の市章は、中心部に西部の新生国を示す「ローンスター（Lone Star）」と、ヒューストンの進歩の精神を表す「機関車」、そしてテキサスの農業を象徴する耕作を表している。

〔姉妹都市提携日〕

1972年（昭和47年）10月24日

2 訪問行程等

平成29年10月9日（月）から13日（金）まで（5日間）

月日	発着・滞在地	訪問地等	宿泊地
10/9（月）	（議長ほか2名） 千葉～午前便 成田空港 発 ヒューストン空港 着	成田空港～ヒューストン空港へ ・ヒューストン自然科学博物館視察	ヒューストン市
	（市長ほか1名） 千葉～午後便 成田空港 発 ヒューストン空港 着	成田空港～ヒューストン空港へ 在ヒューストン総領事と懇談	
10/10（火）	ヒューストン市	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューストン経済関係者との意見交換 (GHP : Greater Houston Partnership) ・ヒューストン市長表敬訪問 (友好関係確認書署名) (ヒューストン洪水災害見舞金の目録 及び応援メッセージの寄せ書きを贈呈) ・ミニッツ・メイド・パーク視察 ・ハーマンパーク日本庭園視察 	ヒューストン市
10/11（水）	ヒューストン市	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉施設視察 (MMSC : Metropolitan Multi-Service Center) ・青少年交流パートナー校訪問 (ROBS : River Oaks Baptist School) ・NASA（アメリカ航空宇宙局）視察 ジョンソン宇宙センター 	ヒューストン市
10/12（木）	ヒューストン市～午前便 ヒューストン空港 発	ヒューストン空港～成田空港へ	（機中泊）
10/13（金）	成田空港 着		

3 公式訪問団 5名

熊谷俊人 市長、小松崎文嘉 市議会議員ほか3名

4 訪問の概略

≪1日目≫ 10月9日（月）

■ ヒューストン自然科学博物館（HMNS : Houston Museum Of Natural Science） （議長、職員1名）

ヒューストン自然科学博物館は、ハーマンパークの北に位置する、「自然」をテーマとした博物館で、1909年に設立された。

古代エジプト、古生物、宝石・鉱物、宇宙、及びテキサスの動植物のジオラマホールなど、16の常設展示が行われているほか、様々な天体現象を再現できる「プラネタリウム（Burke Baker Planetarium）」、熱帯植物と蝶が見られる「バタフライセンター（Cockrell Butterfly Center）」、394席の劇場で、60×80フィート（約20m×25m）の映像を楽しめる「大型スクリーンシアター（Wortham Giant Screen Theatre）」などの施設も併設されている。

また、訪問当日は、特別展示としてVR（バーチャルリアリティ）による飛行体験コーナーや、1513年から1920年までのテキサスの地図を特集した特別展「Mapping Texas」も行われており、多くの入館者で賑わっていた。

なお、当館のWebサイトでは、Google Cultural Instituteによるオンライン展示館も設けており、パソコンなどの電子端末から展示品を鑑賞することもできる。



博物館の外観



1階ホールの恐竜展示



2階ホールのジオラマ展示



2階ホールのジオラマ展示

《 2日目 》 10月10日（火）

■ ヒューストン市経済関係者との意見交換

【グレーター・ヒューストン・パートナーシップ（GHP：Greater Houston Partnership）】

グレーター・ヒューストン・パートナーシップは、1989年にヒューストン商工会議所、ヒューストン経済開発評議会、及びヒューストン世界貿易協会が合併して設立されたヒューストン地域の経済団体である。

現在、1,200社を超える会員企業で構成されており、ヒューストンの経済成長に関わるロビー活動など、当地での拡大や移転を希望する企業に、一連のサービスを提供している。

なお、平成26年（2014年）10月には、当時のアニス・パーカー ヒューストン市長とともに、GHPのボブ・ハーヴィー（Bob Harvey）会頭が千葉市を訪問している。

GHPとの意見交換では、初めにGHP側からヒューストンの経済などに関する説明が行われた後、千葉市側からの質疑応答が行われた。



GHP との意見交換の様子

【ヒューストン市の経済的特徴】

ヒューストン市は、世界初のドーム球場、月への人類到達、心臓移植などの実績に加え、次のような特徴から「The City With No Limits（無限の可能性を秘めた都市）」として様々な挑戦に取り組んでいる。

<人口>

・ヒューストン市の2010年の人口は210万人であり、ニューヨーク、ロサンゼルス、シカゴに次いで4番目に人口の多い。（2020年に予定されている国勢調査では、シカゴを抜き、全米で第3位になる見通しである。）

・全米で若年層の占める割合が最も高い都市の一つであり、4人に1人は外国出身者で人材の多様性がある。また、全米で3番目に多い92か国が、ヒューストンに領事館を構えている。

<経済>

- ・ヒューストン首都圏エリア (Houston Metro Area) の2015年のGDPは、5,033億ドル(約56兆円)であり、スウェーデンやベルギーを上回る。
- ・経済誌「フォーチュン500」に掲載されている大企業が全米で3番目に多く、エネルギー、航空宇宙、医療など幅広い産業基盤を持っている。特に、NASA、ライス大学、MDアンダーソンがんセンターなどがあり、テクノロジーとイノベーションのハブになっている。
- ・世界最大の医療センターである「テキサス医療センター (Texas Medical Center)」では、52,000人以上が働き、年間480万人の患者に対応しており、その経済効果は100億ドルである。

<文化・スポーツ>

- ・他都市と比較して生活費が安く、11,000以上のレストランで様々な種類の食事を楽しむことができる。
- ・文化的にも多様性を有し、500を超える文化、映像、舞台芸術の団体があり、そのうち90は多文化とマイノリティの芸術に専念している。ダウントウンの劇場地域には、12,000以上の座席を持つ8つの舞台芸術団体がある。
- ・野球、バスケットボール、アメリカンフットボール、サッカーのプロチームを擁している。また、ロデオの本拠地であり、毎年3月に開催される世界最大のロデオの祭典には、220万人以上の来場者が訪れる。

【GHPによる活動】

現在、GHPが重視しているのは、早期教育の実現であり、具体的には、5歳以下からの教育の義務化を州に働きかけていきたいという。また、GHPが行ったロビー活動の中で、本年承認されたものとしては、物流の円滑化・活発化を目的とした、大型のトラックが通行可能な道の拡大等が承認されている。

このほか、GHPでは、NASAのジョンソン宇宙センターを有する都市として、将来、商業化された宇宙旅行の発信点として、ヒューストンが中心的な場所となることを期待しているとの話も聞かれた。



GHPの皆さんと

■ ヒューストン市役所表敬訪問（Houston City Hall）

ヒューストン市役所でシルベスター・ターナー（Sylvester Turner）市長を表敬訪問した。

表敬訪問では、市のレガシールームで、ターナー市長から挨拶、熊谷市長の挨拶に続き、これまで青少年交流等で培ってきた友好関係を礎として、さらなる交流の発展に努めることを両市長が確認し、友好関係確認書への署名を行った。

ターナー市長からは、公式訪問団の歓迎と、ハーマンパーク日本庭園への支援、ボーイスカウトの受入れ、ヒューストンバレエ団の現役プリンシパルらによる千葉市公演などについての感謝と、今後の一層の交流促進などが述べられた。

熊谷市長からは、大型ハリケーンによる被災へのお見舞い、両市間交流の一層の促進、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の7競技が千葉市で開催されることなどが述べられた。



ターナー市長との対面



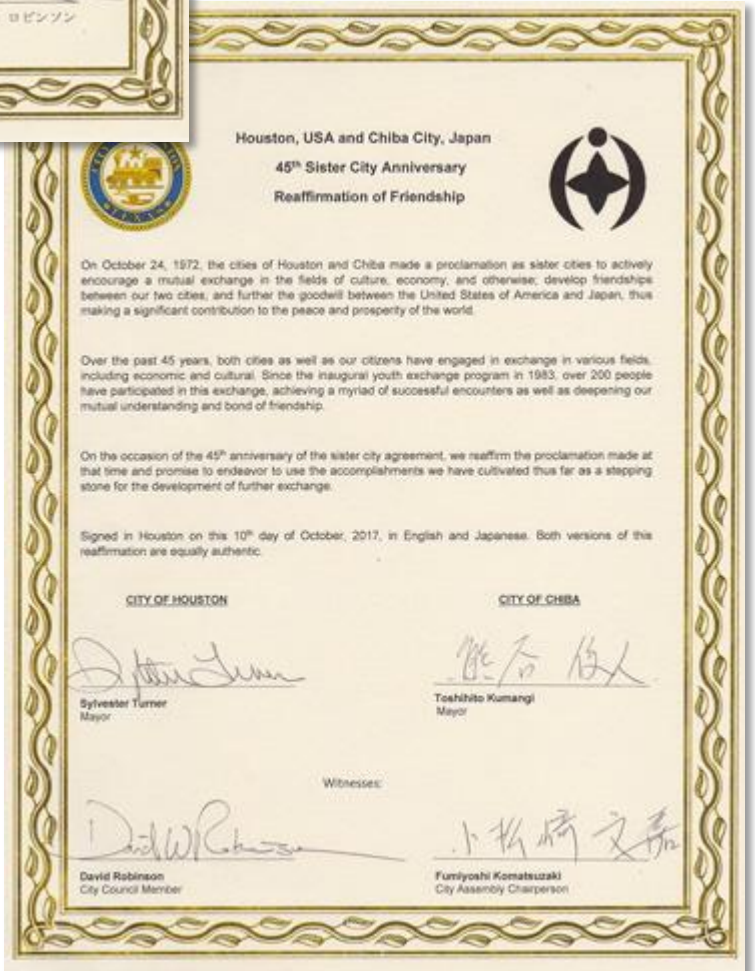
熊谷市長の挨拶



友好関係確認書の署名

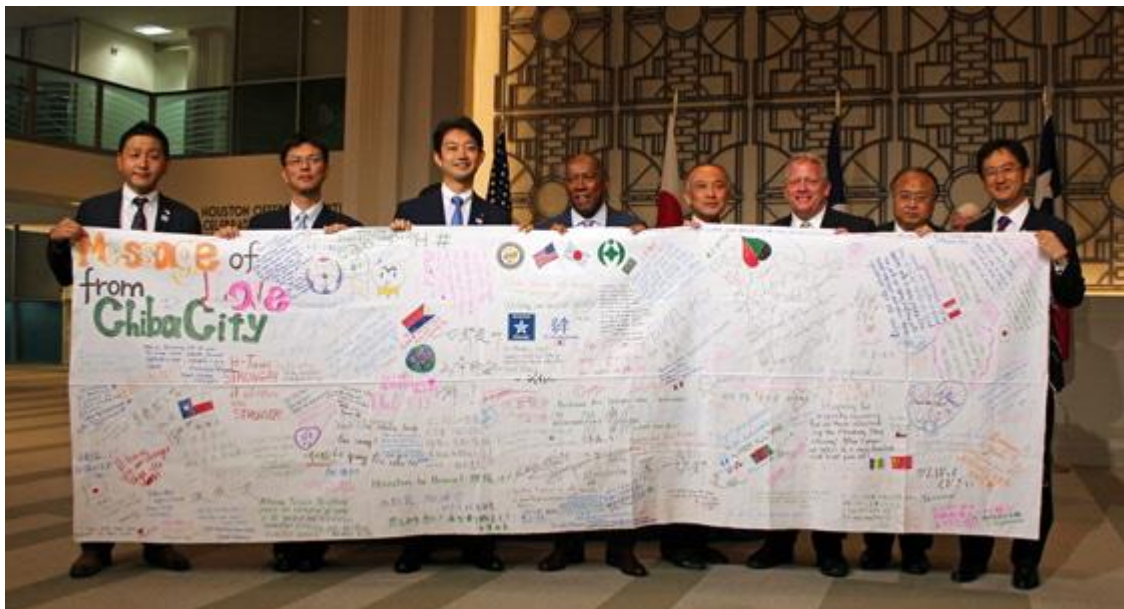
前列左から千葉市の小松崎議長、熊谷市長、ヒューストン市のターナー市長、ロビンソン議員

【友好関係確認書】



【ヒューストン市洪水被害見舞金及び応援メッセージの寄せ書きの贈呈】

アメリカ南部テキサス州に上陸した大型ハリケーン「ハービー」の影響により甚大な被害を受けたヒューストン市を支援するため、「ヒューストン市洪水被害見舞金」（968,678円）の目録と「応援メッセージの寄せ書き」をターナー市長に贈呈した。



ハリケーン洪水被害の応援メッセージの寄せ書きを贈呈

【記念品交換】

表敬訪問では、本年7月に千葉市美浜文化ホールで行われたヒューストンバレエ団の現役プリンシパル（最高位のダンサー）らによる「バレエワークショップ」でスカラシップを得て、ヒューストンバレエアカデミーに留学中の、菰田柚子（こもだ ゆず）さんが招待された。

また、記念品の交換では、本市は赤富士デザインの大皿を、ヒューストン市からはヒューストン・アストロズ選手のサイン入りバットが贈られた。



菰田さんと



記念品交換

■ ミニッツ・メイド・パーク (Minute Maid Park)

メジャーリーグベースボール「ヒューストン・アストロズ」の本拠地として2000年に開業した開閉式屋根付き天然芝野球専用球場。収容人数は約41,000人。コカ・コーラ社が命名権を持ち、同社のジュース「ミニッツ・メイド」から球場名が名付けられた。



ミニッツ・メイド・パーク



視察の様子

【プレミアムシート】

ミニッツ・メイド・パークには、VIP ルーム以外にも多様なプレミアム席があり、高価な席を用意して収入を確保することで、一般のファンに安価な席を用意している。

①「ダイヤモンド・クラブ (Raymond James-Alex Brown Diamond Club)」(写真左下)

ヒューストンの有名シェフの料理を食べながら、30フィート(約9メートル)のスクリーンでゲームを観戦できる。

②「レクサスフィールド・クラブ (Lexus Field Club)」(写真右下)

フェンス裏に設けられた特設シートで観戦できることに加え、試合前にはフェンス前のフィールドに出て、選手の打撃練習を見られるプレミアム特典が付いている。



ダイヤモンド・クラブ



レクサスフィールド・クラブ

【選手への配慮、セキュリティ】

当球場では、選手へのきめ細かな配慮がなされており、選手の家族がスタジアム内に設けられた託児所に子どもを預けて試合を観戦できるほか、セキュリティ面では、スタジアム全体に監視カメラが600台以上整備されている。



選手の託児所



選手のリハビリルーム

【蒸気機関車とホームラン・ポンプ】

ミニッツ・メイド・パークは、歴史的建造物として登録・保存されている「ユニオン駅 (Union Station)」の一部を利用しているため、外野左側に蒸気機関車のアトラクションがある。

この蒸気機関車は、試合開始時やアストロズの選手がホームランを打ったときなどに、汽笛を鳴らしながら約122メートルの線路を走る。汽車の後ろには、ミニッツ・メイドの球場名にちなんで、石炭の代わりにオレンジを積んでいる。

また、ヒューストンはエネルギー産業が盛んなことから、左側に突き出たバルコニーに、昔ながらのガソリンポンプ (ホームラン・ポンプ) がある。このポンプには、球場が開場して以来、アストロズの選手が当球場で放った本塁打数の合計が表示されている。



蒸気機関車とホームラン・ポンプ

■ ハーマンパーク日本庭園 (Herman Park Japanese Garden)

【ハーマンパーク】

ヒューストン市の中心部に位置するハーマンパークは、1914年にジョージ・ハーマンによってヒューストン市に贈られた公園で年間600万人の来場者が訪れる。

公園には、ヒューストン動物園、野外劇場、ヒューストン自然科学博物館、日本庭園などがあるほか、テキサスメディカルセンター、ライス大学、博物館地区、そして、様々な住宅街に囲まれており、文化とレクリエーションの拠点になっている。

【日本庭園】

ハーマンパークの日本庭園は、世界的に知られた日本庭園デザイナー、故中島健氏の設計により、ヒューストン市在住の日米市民からの寄附、ヒューストン市の補助金、及び日本政府からの寄贈などで建設が進められ、1992年5月4日に日米両国民の友情のシンボルとして開園した。

庭園内には、長屋門や茶屋、雪見灯籠などがあり、また、黒松、紅梅、イロハモミジ、藤の花など、日本の木花も植えられている。



ハーマンパーク日本庭園



日本庭園の視察



日本庭園の視察



雪見灯籠の前で

昭和61年(1986年)に、ヒューストン市の日本庭園造園に合わせ、千葉市から雪見灯籠を寄贈している。また、平成26年(2014年)4月には、ハーマンパーク開園100周年を記念して、ジャパン・フェスティバルのオープニングセレモニーで大賀ハスを寄贈。さらに、平成29年(2017年)にも大賀ハスの分根が行われた。

《3日目》 10月11日（水）

■ メトロポリタン・マルチサービスセンター（MMSC : Metropolitan Multi-Service Center）

メトロポリタン・マルチサービスセンターは、1982年に設立された障害者レクリエーション施設で、障害のある方に対するレクリエーション・スポーツ等を提供している。

11km²の施設に、体育館、フィットネスルーム、室内温水プール、テニスコート2面、ビーブームベースボール場（音の出るボールを使う野球）、子どもの遊び場などがある。

レクリエーション・プログラムには、ヨガ、水泳、車いすバスケットボール、車いすラグビー、電動車椅子サッカー、ボッチャ、卓球などがある。

子どもの遊び場は、親子が一緒に楽しめるようなスペースになっており、車いすでも利用できるように設計されている。



フィットネスルーム



体育館



子どもの遊び場

■ リバーオークス・バプティスト・スクール (ROBS : River Oaks Baptist School)

リバーオークス・バプティスト・スクールは、ヒューストン市の幼稚園から中学生までの私立学校である。アメリカの学校では、学年を「グレード」と呼び、日本の小学校1年～高校3年にあたる12年間で、グレード1～12に相当しており、ROBSではグレード8（日本の中学校2年生相当）までの教育を行う。また、本校は、バプティスト（キリスト教プロテスタントの一教派）によって運営されているが、バプティストではない家庭でも入学は可能である。

平成27年（2015年）、平成29年（2017年）の青少年交流事業における千葉市青少年（中学生）受入校であり、千葉市から派遣された中学生たちは、当校の生徒とともに数日間授業を受ける。平成30年（2018年）には、当校から千葉市に中学生5名と引率者が派遣される予定。

授業は、グループ討議や発表などが中心で、映像制作やプログラミング教育も行われている。



ROBSの皆さんと

■ NASA(アメリカ航空宇宙局) ジョンソン宇宙センター(JSC :Lyndon B. Johnson Space Center)

ジョンソン宇宙センターは、1961年に有人飛行場センターとして設立され、1973年にテキサス州出身の元アメリカ合衆国大統領であるリンドン・B・ジョンソンを称えるために改名された。

人を地球周回軌道に送り安全に帰還させることを目標とした「マーキュリー計画」（1959年～1963年）から、人類初の月への有人宇宙飛行である「アポロ計画」（1961年～1972年）、スペースシャトル、国際宇宙ステーションに至るまで、半世紀以上にわたり、アメリカの宇宙飛行プログラムの最前線となっており、エンジニアなど、約1万人の職員が従事している。

【宇宙船モックアップ（模型）施設、サターンロケット】

宇宙船モックアップ施設では、宇宙飛行士、エンジニア、その他のミッション支援の専門家が、宇宙ステーションを操作するためのスキルと手順を学んでいる。

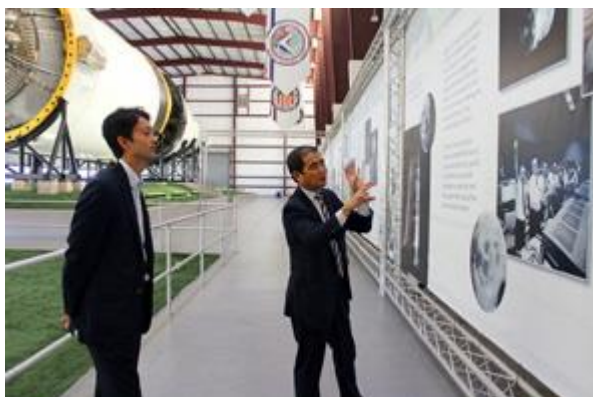
サターンロケットは、アポロ計画で宇宙飛行士を月に運んだロケットである。サターンという名称は土星（Saturn）にちなんでいる。ロケットの展示スペースには、1961年～1972年にかけて実施されたアポロ計画の説明が、当時の写真と共に描かれている。



宇宙船モックアップ施設



実物大のサターンロケット



アポロ計画の展示



JAXA の説明を受ける訪問団

【市立稲毛高校の生徒たちとの対面】

ヒューストン市に滞在中で、NASA を訪問中の市立稲毛高等学校の国際教養学科の生徒20名と対面。

生徒たちは、同校の海外語学研修プログラムにより、ウッドランズ高校及びカレッジパーク高校で、語学研修、ホームステイ、授業体験等を行っている。



ホームステイ中の稲毛高校生徒との対面



稲毛高校の生徒たちと

■ 千葉市・在ヒューストン総領事館主催の答礼レセプション（千葉市プレゼンテーション）

千葉市と在ヒューストン総領事館共催の答礼レセプションにおいて、ヒューストン市をはじめ、経済、文化、国際交流団体などの関係者が出席する中、熊谷市長による千葉市紹介のプレゼンテーションを行った。



天野総領事の挨拶



熊谷市長の挨拶



熊谷市長のプレゼンテーション



小松崎議長挨拶

《4日目》 10月12日（木）

午前の便で帰国の途についた